

証券コード6859

エスペック株式会社

2025年度(2026年3月期) 第1四半期決算説明

2025年8月22日
エスペック株式会社

2025年度第1四半期 決算概要

- ・生成AI関連の電子部品・電子機器の試験需要が増加、EV関連の開発用途は継続、北米では衛星通信関連の投資が好調に推移し、受注高は過去最高
- ・一方、大型製品や複数台一括といった長納期案件が多く、売上高・利益面は前期を下回る
- ・中期経営計画ターゲット市場を中心に好調であり、上期・通期業績予想は修正なし

	前期比		予想比	
■受注高	○	すべての事業が増加、特に装置事業の環境試験器、半導体関連装置、その他事業が増加	○	装置事業(環境試験器、半導体関連装置)、その他事業が上回る。サービス事業は受託試験は下回るもアフター・エンジニアが増加
■売上高	×	装置事業(環境試験器)は大型製品や複数台一括といった長納期案件が多く減少。サービス事業、その他事業は増加	×	装置事業(環境試験器)にて長納期案件の増加や顧客都合による期ズレがあり下回る。サービス事業は受託試験が想定を下回る
■営業利益	×	主に売上高の減少により減少	×	主に売上高の未達により下回る
■親会社株主に帰属する四半期純利益	×	営業利益の減少により減少	×	営業利益の未達により下回る

損益の状況

(百万円)

	2024年度 1Q実績	2025年度 1Q実績	前年同期比
受注高	16,988	18,921	+11.4%
売上高	13,691	12,323	△10.0%
売上原価 原価率	8,890 64.9%	8,125 65.9%	△8.6% 1.0pt悪化
売上総利益	4,800	4,197	△12.6%
販管費	3,878	3,862	△0.4%
営業利益 利益率	922 6.7%	335 2.7%	△63.7% 4.0pt悪化
経常利益	1,114	344	△69.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	756	107	△85.8%

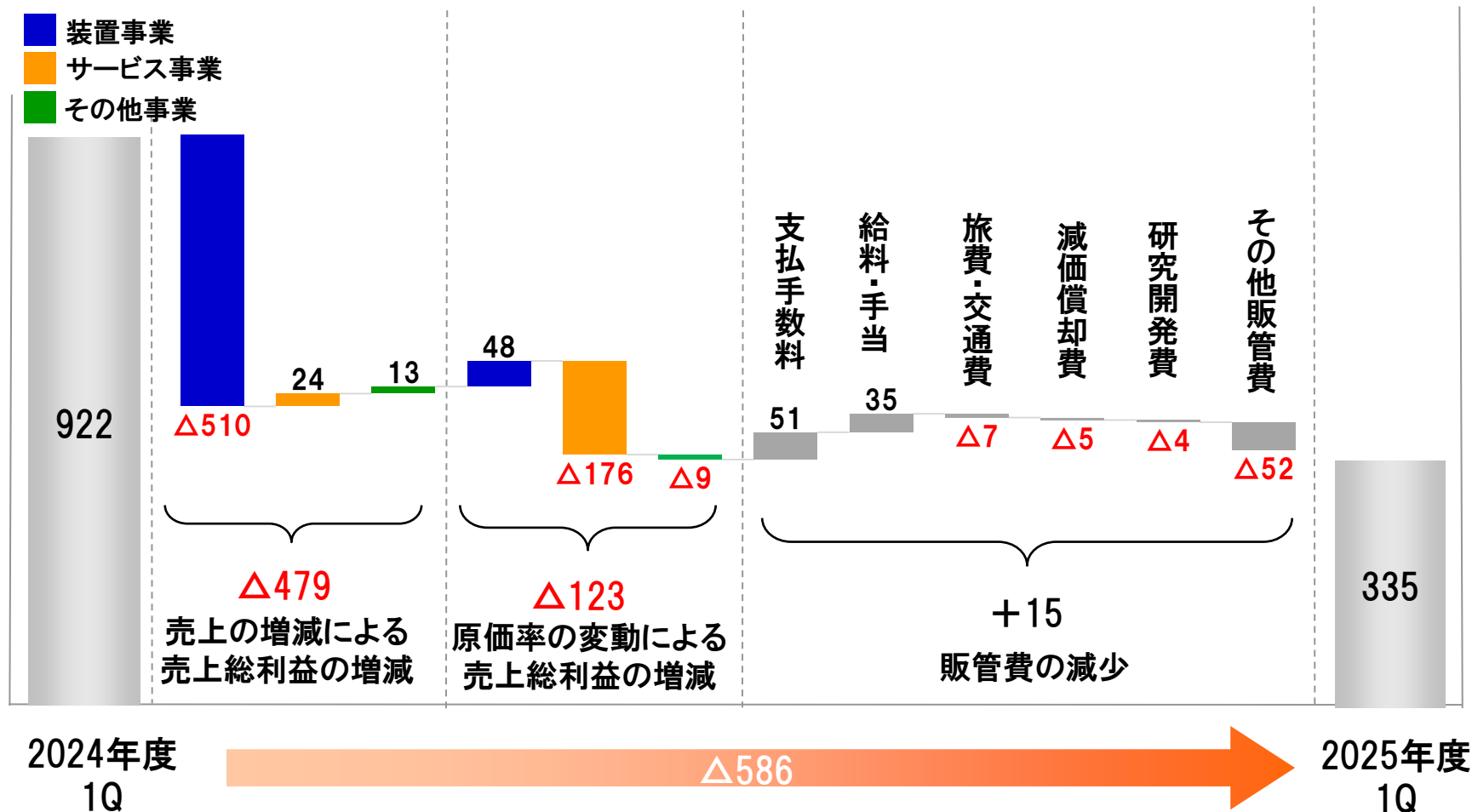
セグメント別の損益の状況

(百万円)

		2024年度 1Q実績	2025年度 1Q実績	前年同期比
装置事業	受注高	14,510	15,755	+8.6%
	売上高	11,827	10,344	△12.5%
	営業利益	810	418	△48.4%
サービス事業	受注高	2,186	2,266	+3.6%
	売上高	1,767	1,832	+3.6%
	営業利益	147	△41	—
その他事業	受注高	421	1,025	+143.1%
	売上高	207	256	+23.3%
	営業利益	△34	△41	—
連結消去	受注高	△130	△125	—
	売上高	△112	△109	—
	営業利益	△1	△0	—
計	受注高	16,988	18,921	+11.4%
	売上高	13,691	12,323	△10.0%
	営業利益	922	335	△63.7%

営業利益の増減要因分析

- 主に装置事業の減収、サービス事業の拡大に向けた減価償却費の増加や人員増に伴う原価率悪化により減益、2Q以降の改善に取り組む



※合計値は全体の売上総利益率を用いて算出しています。

装置事業セグメント

(百万円)

	2024年度 1Q実績	2025年度 1Q実績	前年同期比
受注高	14,510	15,755	+8.6%
売上高	11,827	10,344	△12.5%
営業利益	810	418	△48.4%
利益率	6.9%	4.0%	△2.9pt

環境試験器

- 国内では、汎用性の高い標準製品、カスタム製品ともに前年同期比で受注高は増加
大型製品や複数台一括といった長納期案件が多く、売上高は減少
- 海外では、前年同期比で受注高は北米、東南アジア、台湾において増加
売上高は主に欧州、中国が減少、北米は長納期案件の増加や顧客都合による期ズレにより減少

エナジーデバイス装置

- EVバッテリー向け一括案件の投資が一巡し、前年同期比で受注高・売上高ともに減少

半導体関連装置

- 通信や車載関連の案件があり、前年同期比で受注高・売上高ともに大幅に増加

サービス事業セグメント

(百万円)

	2024年度 1Q実績	2025年度 1Q実績	前年同期比
受注高	2,186	2,266	+3.6%
売上高	1,767	1,832	+3.6%
営業利益	147	△41	—
利益率	8.3%	△2.3%	

アフターサービス・エンジニアリング

■ 予防保全サービス・修理サービスともに堅調に推移し、前年同期比で受注高・売上高ともに増加

受託試験・レンタル

■ 受託試験が堅調に推移し、受注高・売上高ともに前年同期並み

その他事業セグメント

(百万円)

	2024年度 1Q実績	2025年度 1Q実績	前年同期比
受注高	421	1,025	+143.1%
売上高	207	256	+23.3%
営業利益 利益率	△34 △16.7%	△41 △16.4%	—

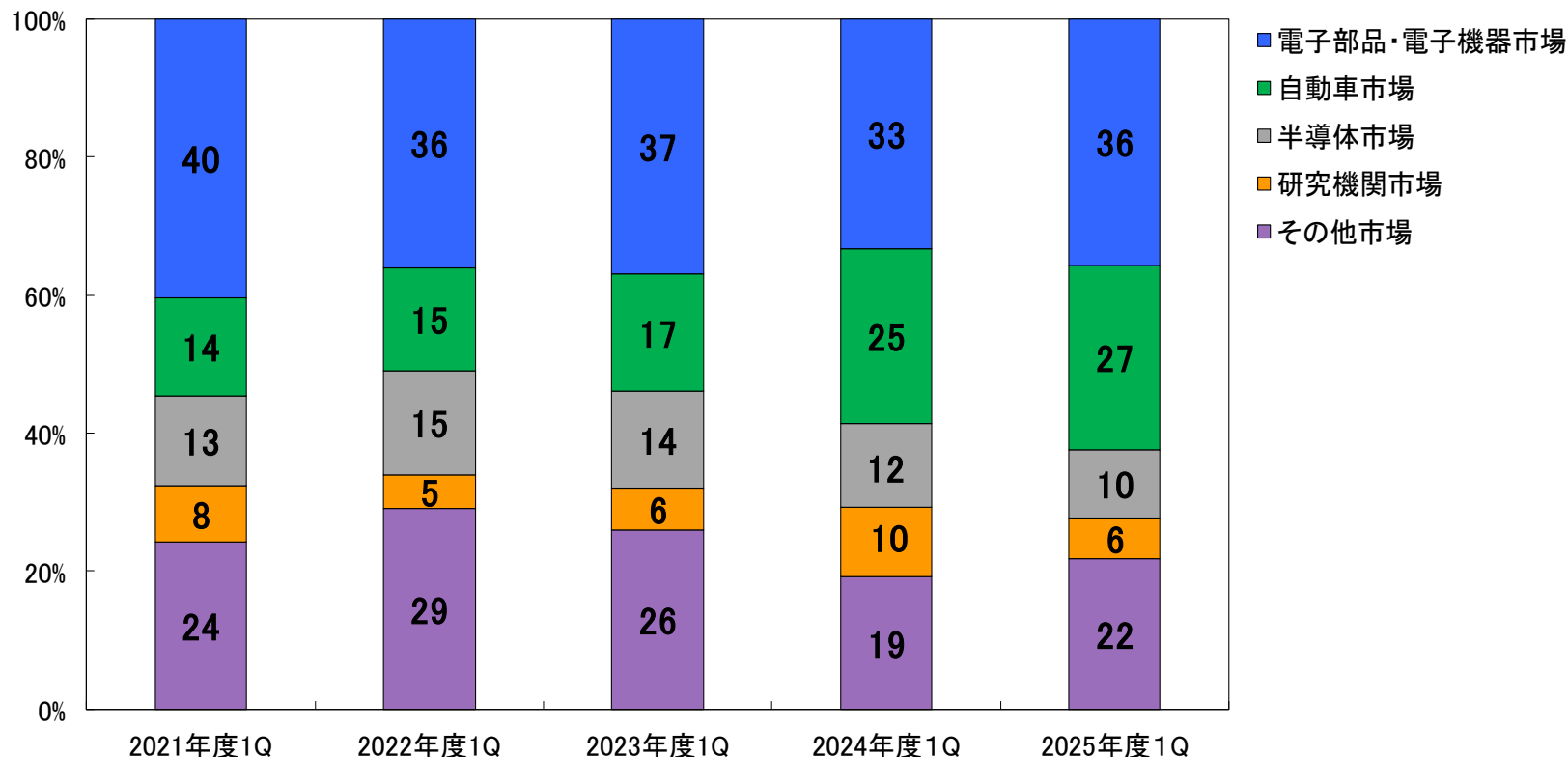
環境保全・植物育成装置

- 森づくりが堅調に推移するとともに、植物研究用装置や植物工場の大型受注を獲得
前年同期比で受注高・売上高ともに増加

市場別売上構成比

- 電子部品・電子機器市場は、生成AI関連の試験需要が増加し構成比が上昇
- 自動車市場は、EV・バッテリー関連の売上計上により構成比が上昇

単体(装置事業)

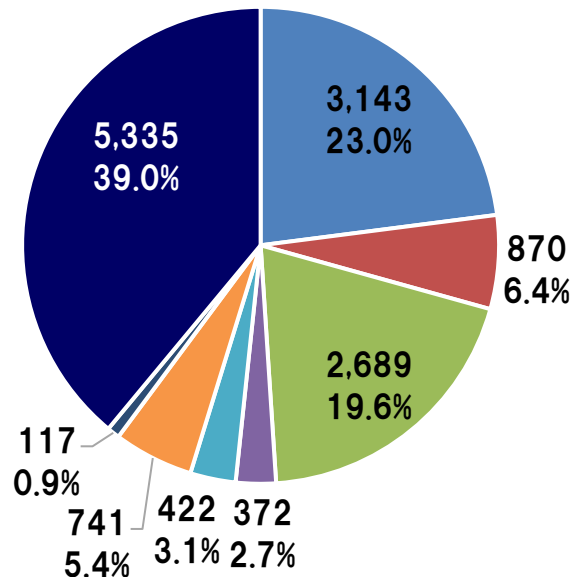


地域別売上構成比

■ 売上高は特に日本が増加、北米は受注好調も長納期案件が多く減少、中国も減少

2024年度 1Q

海外売上高比率:61.0%



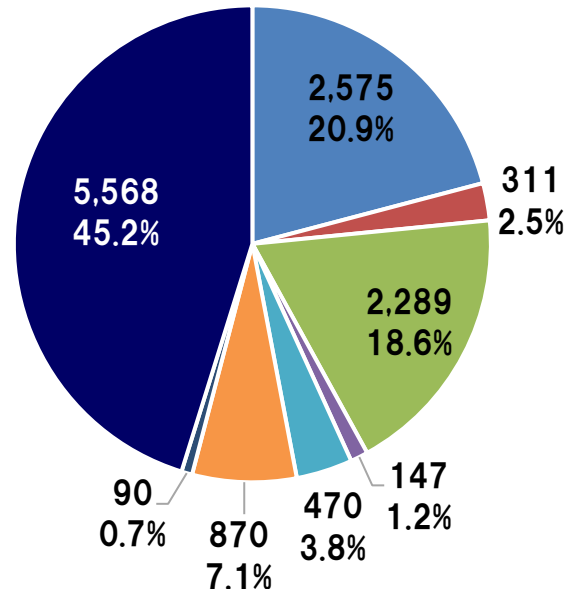
計 13,691百万円

海外売上高 : 8,356百万円

2025年度 1Q

海外売上高比率:54.8%

- 北米
- 欧州
- 中国
- 台湾
- 韓国
- 東南アジア・インド
- その他
- 日本



計 12,323百万円

海外売上高 : 6,754百万円

2025年度 業績予想

■ 受注高は前期比・予想比ともに上回って進捗しており、上期・通期業績予想は修正なし

(百万円)

	2024年度	2025年度				
	通期実績	1Q 実績	予想			
			上期	下期	通期	前期比
受注高	67,514	18,921	33,500	32,500	66,000	△2.2%
売上高	67,288	12,323	31,000	37,000	68,000	+1.1%
売上総利益 利益率	23,987 35.6%	4,197 34.1%	11,500 37.1%	13,900 37.6%	25,400 37.4%	+5.9% +1.8pt
販管費 販管費率	16,460 24.5%	3,862 31.3%	8,150 26.3%	8,750 23.6%	16,900 24.9%	+2.7% +0.4pt
営業利益 利益率	7,526 11.2%	335 2.7%	3,350 10.8%	5,150 13.9%	8,500 12.5%	+12.9% +1.3pt
経常利益 利益率	7,793 11.6%	344 2.8%	3,450 11.1%	5,200 14.1%	8,650 12.7%	+11.0% +1.1pt
親会社株主に帰属する 当期純利益 利益率	6,003 8.9%	107 0.9%	2,500 8.1%	3,690 10.0%	6,190 9.1%	+3.1% +0.2pt
1株当たり当期純利益(円)	274.97	4.94	114.51	169.02	283.53	+3.1%
ROE	11.0%	—	—	—	11.0%	±0pt

セグメント別の業績予想

(百万円)

		2024年度	2025年度				
		通期実績	1Q実績	予想			
				上期	下期	通期	前期比
装置事業	受注高	57,283	15,755	28,430	27,070	55,500	△3.1%
	売上高	57,507	10,344	26,420	31,180	57,600	+0.2%
	営業利益	6,610	418	2,910	4,430	7,340	+11.0%
サービス事業	受注高	8,532	2,266	4,520	4,680	9,200	+7.8%
	売上高	8,425	1,832	4,210	4,990	9,200	+9.2%
	営業利益	793	△41	490	590	1,080	+36.0%
その他事業	受注高	2,170	1,025	800	1,000	1,800	△17.1%
	売上高	1,758	256	600	1,100	1,700	△3.3%
	営業利益	126	△41	△50	130	80	△36.9%
連結消去	受注高	△472	△125	△250	△250	△500	—
	売上高	△403	△109	△230	△270	△500	—
	営業利益	△4	△0	0	0	0	—
計	受注高	67,514	18,921	33,500	32,500	66,000	△2.2%
	売上高	67,288	12,323	31,000	37,000	68,000	+1.1%
	営業利益	7,526	335	3,350	5,150	8,500	+12.9%

株主還元方針と2025年度配当予想

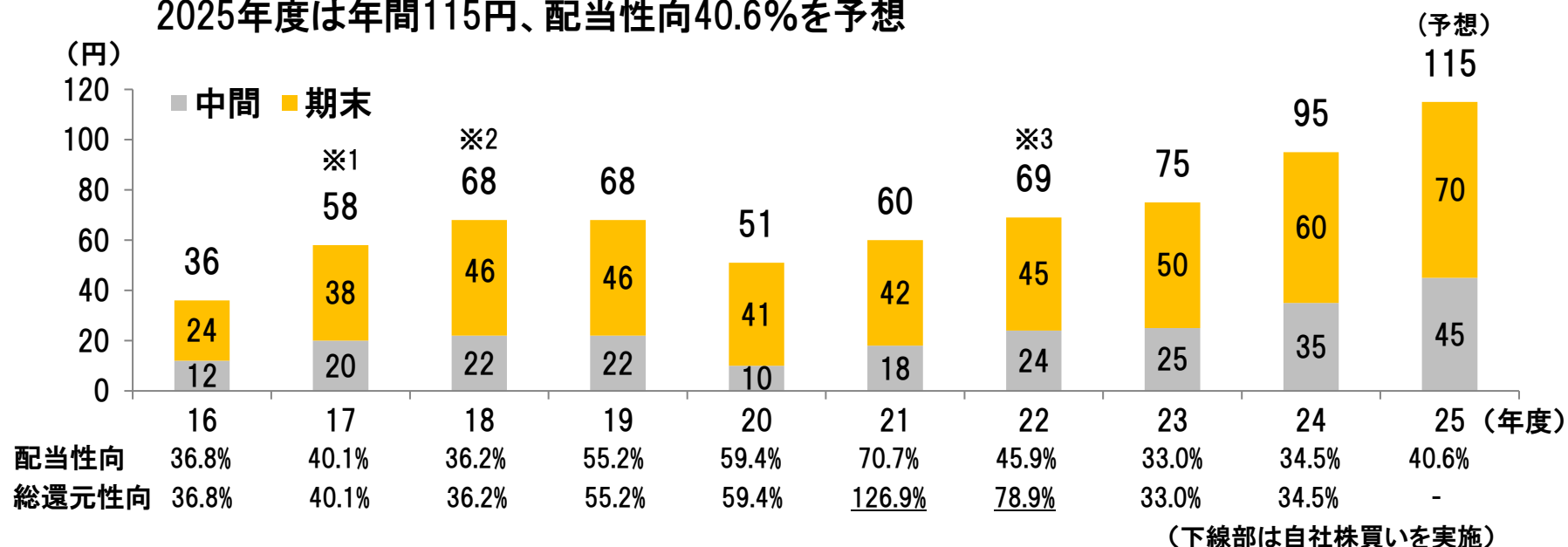
株主還元方針

配当性向を40%以上とし自己株式取得を機動的に実施

中期経営計画「PROGRESSIVE PLUS 2027」(2025～2027年度)の期間は、
3年間累計で総還元性向を50%以上とし減配しない

一株当たり配当金と配当性向・総還元性向

2025年度は年間115円、配当性向40.6%を予想



※1.2017年度は創業70周年記念配当2円(中間1円、期末1円)を含む

※2.2018年度は海外連結会社の決算期が15ヵ月間の変則決算 12ヵ月とした場合の配当性向は39%(参考値)

※3.2022年度は創業75周年記念配当4円(中間2円、期末2円)を含む

2025年度 主な取り組み

装置事業

- ・受注残高の消化、および内製化の拡大による製品リードタイム短縮
- ・ターゲット市場の試験ニーズに合致した高付加価値製品の開発および販売拡大

サービス事業

アフターサービス：「スーパーサポートプラン」や保守契約サービスの販売拡大
受託試験：「あいち次世代モビリティ・テストラボ」の売上拡大

エリア戦略

日本：AI半導体、自動運転分野での営業活動強化、買い替え需要の獲得
米国：衛星通信、AI半導体分野への販売拡大
中国：半導体、通信関連などの先端技術分野への拡販

2025年度 ESGの主な取り組み

■E(環境)

- ・第8次環境中期計画(2022～2025年度)の推進
- ・地球温暖化対策:
 - 低GWP冷媒への置き換え、製造など事業活動におけるCO₂排出量削減
- ・生物多様性保全活動:
 - 環境保全事業による貢献、「エスペック50年の森」運営による保全活動の推進

■S(社会)

- ・人的資本戦略の展開、人材育成
- ・インターナルコミュニケーションの推進、従業員の健康増進と安全確保、エンゲージメント調査の実施
- ・女性管理職の育成、障がい者雇用の促進と定着化

■G(ガバナンス)

- ・BCPの再構築
- ・人権方針の策定

「あいち次世代モビリティ・テストラボ」サービス開始 車載用バッテリーおよびEV・自動化モジュールの試験需要に対応

■あいちバッテリー安全認証センター

- ・国内最大級の車載用バッテリー専門試験所として2025年2月開設
- ・最新の試験設備により、車載用バッテリーの大型化・大容量化に対応
- ・国連規則ECE-R100の安全性試験をはじめとする各種試験規格に対応



あいちバッテリー安全認証センター
(愛知県常滑市)

■豊田試験所

- ・当社最大の総合試験所である豊田試験所の機能を拡張(2025年4月サービス開始)
- ・e-Axle・PCU・ECUなど供試品の大型化に対応
- ・EV・自動化モジュールの動作状態での使用環境を再現し、評価・計測するサービスを新たに強化



豊田試験所(愛知県豊田市)

TOPICS 2

AI・自動運転分野の試験需要に対応 急速温度変化チャンバー

- ・2025年4月、急速温度変化チャンバーに試料温度を20°C/分で制御可能なハイパフォーマンスモデルをラインアップ
- ・半導体パッケージの信頼性試験規格、エレクトロニクス、自動車市場などの国際規格に適合し、低GWP※冷媒「R-449A」を標準搭載



急速温度変化チャンバー(TCC-151W-20)

低GWP冷媒搭載 低温恒温(恒湿)器 プラチナスJシリーズ ECOタイプを発売

- ・2024年11月、環境試験器のグローバルスタンダードモデル「プラチナスJシリーズ」よりECOタイプを発売
- ・独自の冷凍技術により、現行モデルと比較して消費電力を最大70%低減、低GWP※冷媒「R-449A」搭載により温室効果ガス排出量削減に貢献



低温恒温(恒湿)器プラチナスJシリーズ ECOタイプ

※二酸化炭素を基準に、ほかの温室効果ガスの温暖化する能力を表した数字のこと。値が小さいほど環境負荷が少ない

TOPICS 3

-70℃でおいしく急速冷凍 超低温ショックフリーザーを発売

- ・2025年4月、-70℃の超低温で食品を急速に冷凍し、生鮮食品も鮮度を保ちながら保存できる「超低温ショックフリーザー」を発売
- ・低風速環境下での冷凍を実現することで、食品の乾燥を防ぎながら、保存、解凍、再加熱まで1台で完結



超低温ショックフリーザー

低GWP冷媒搭載 急速温度変化装置を コスモピアハイテックが国内で初めて発売

- ・2024年10月、当社グループのコスモピアハイテックが国内初となる低GWP※冷媒「R-473A」搭載の急速温度変化装置を発売
- ・国際的な試験規格に適合するとともに、温室効果ガス排出量削減に貢献



急速温度変化装置プレミアムエクセレントシリーズ（EC-28PXHH）

※二酸化炭素を基準に、ほかの温室効果ガスの温暖化する能力を表した数字のこと。
値が小さいほど環境負荷が少ない

社外からの評価

■ ESG関連の評価

- ・ESG指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」組み入れ
- ・CDP 気候変動分野の調査で5年連続「Bスコア」、水セキュリティは「B-スコア」「サプライヤーエンゲージメント評価」では、3年連続最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定
- ・英フィナンシャル・タイムズ、独調査会社スタティスタ「アジア太平洋地域気候変動リーダー企業」に2年連続で選定
- ・日本経済新聞社「日経サステナブル総合調査 SDGs経営編」3.5つ星
- ・日本経済新聞社「日経サステナブル総合調査 スマートワーク経営編」3つ星



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



■ IRサイトの評価

- ・「大和インターネット IR表彰」優良賞
- ・日興アイ・アール「全上場企業ホームページ充実度ランキング」最優秀サイト
- ・「Gomez IRサイトランキング」銅賞(業種別17位)
- ・「Gomez ESGサイトランキング」優秀企業

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、
当社が計画・予測したものであります。
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは
異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものでは
ございません。

【お問い合わせ先】

エスペック株式会社

サステナビリティ推進部 IR・広報グループ

〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6

TEL 06-6358-4744 FAX 06-6358-4795

e-mail ir-div@espec.jp